

介護なんでも相談室



松永安優美 まつながあゆみ
栃木県出身、内科医。埼玉医科大学卒。同大付属病院を経て実家の松永医院に勤務。平成3年から特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホームなどを設立。現在、医療法人「聖生会」理事長、社会福祉法人「裕母和会」会長として、医院と8つの介護施設を運営している。

Q 私は55歳、会社員。首都圏の団地住まいで、10年後の65歳で退職年齢になります。退職金は2500万円程度。年金は妻と合わせて月額25万円と推計しています。いま賃貸住まいなので、退職後は退職金をすべて注ぎ込んで夫婦2人、民間の高齢者施設に入ろうと考えています。生活費は年金で賄うつもりです。この条件だと、どの地域の施設に入居可能でしょうか？
また私の将来計画は妥当ですか？ 甘すぎますか？



A 相談者の将来ります。サ高住だと、設計には賛成で療や介護のサービスが手きません。退職薄になるのではないかと金すべてを有料老人ホームの心配もあるでしょう。ムの入居金に注ぎ込むのが、施設によっては、病とをお考えのようです。気や認知症などで要介護が、それはリスクが高くなります。5になった方でもずっときます。将来、病気になる介護してもらえる所もあったり、不意の出費は必ります。さらに、オプション出てきます。そのとき、オンや料金体系、細かいに手持ち資金がないと、サービス内容は違います。生活設計が大きく狂い、から、心配な点も含めて精神的にも不安が増すも、じっくり施設選びをすることをお勧めします。

ですから、退職後も現在、最後に、相談者の現在の賃貸住宅に住み続け、必要となったら、サムを探すがいますが、サービス付き高齢者向け住宅が健康なうちは、自宅（サ高住）への入居をがやりたいことを優先す検討してみたいかが、べきだと思えます。退職しよう。入居金が数千万金の一部もそちらに振り円以上も必要な有料老人分けることが賢明でしょう。ホームに対し、このサ高住。住は入居金が不要な場合、相談者の年齢を考えると、退職金を注ぎ込め、介護が必要になった必要がありません。毎ときのことを考えるのは月の経費も、食事代や部必要ですが、それだけを屋代を合わせて、ご夫婦考えての人生設計はマイで20万〜25万円足りるナス思考すぎると思いますが、施設が郊外なら十分にあす。